

4-3. 附属図書館

1. 特記事項

平成 26 年度の特記すべき取り組み事項は、以下のとおりである。

1. 附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架を更新
2. 附属図書館ブックディテクションシステム(BDS)を更新
3. セミナー室 2 における電子黒板の導入
4. 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の利用開始
5. 学内ワークスタディ制度の開始
6. 写真展「鳴門教育大学のあゆみ」の開催
7. 書籍消毒機, 除菌 BOX の導入
8. 児童図書室資料のオンライン貸出・返却を開始

2. 管理運営

(1) 附属図書館運営委員会

附属図書館運営委員会は附属図書館長, 各教育部から選出された教授等, 委員 11 名で構成し, 事業計画の策定や予算に係る重要事項等を審議している。

(2) 事務組織

法人化後は図書購入に係る契約事務は会計課に一元化し, それまでの 3 係体制 (管理, 目録, サービス係) から資料係, サービス係の 2 係体制となっていたが, チーム制の導入に伴い平成 19 年 7 月から学術情報チームに変更した。平成 22 年 4 月から教務課図書チームへ, 平成 23 年 4 月から教務課附属図書館事務室図書チームへ名称変更した。平成 26 年 4 月から教務企画課附属図書館事務室資料係, 学術情報サービス係へ名称変更した。

3. 教育支援

(1) 蔵書

「日本の図書館 2014」(日本図書館協会)によれば, 学生 1 人当たりの蔵書冊数は約 288 冊で, 国立教育系大学図書館の中では最多である。

<参考 学生 1 人当たりの蔵書冊数 H26. pdf >

統計データは平成 25 年度の数値を使用している。

(2) 学術資料の収集整備

教員養成系大学として幅広く各分野の資料を選定しており, 附属図書館に備える学生図書及び参考図書は全教員の推薦や選定により購入している。また, 授業に係る参考文献や学生から要望があった資料も購入している。

外国雑誌については, 附属図書館購入の冊子体は少ないが電子ジャーナルは約 9, 400 タイトルを利用できる。

また、小中学校の教科書や指導書の収集について、本学学生が実地教育でお世話になる徳島県内の小中学校が採択している教科書や指導書を基に整備している。高等学校については徳島県内の高等学校が採択している教科書、指導書を基に整備している。

なお、学生の利便性に配慮し、教科書、指導書、学習指導要領及び学習指導要領解説は「教科書コーナー」として別置している。

(3) 開館・利用状況

平成 26 年度開館日数は 316 日であり。例年より開館日数が少ない。これは、附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架を更新のため臨時休館日(14 日間)を設けたことによる。

開館時間は、授業期平日では 8 時 45 分から 22 時、土・日・祝日は 10 時から 18 時までとしている。

「日本の図書館 2014」(日本図書館協会)によれば、学生 1 人当たりの年間図書貸出冊数は約 21 冊で、国立教育系大学図書館の中では第 2 位である。

<参考 学生 1 人当たりの年間図書貸出冊数 H26. pdf>

統計データは平成 25 年度の数値を使用している。

(4) 情報リテラシー支援(図書館利用指導)

入学式後の新入生オリエンテーションにおいて「図書館利用案内」を配布している。その上で希望者に対して実施する図書館オリエンテーションでは、館内の案内と利用説明、蔵書検索(OPAC)や論文検索等の紹介を行った。

4 月には学部 1 年生(新入生全員)を対象とした授業(基礎情報教育)において、本学や全国の大学図書館で所蔵している資料や国内で発行している雑誌論文の検索方法について説明した。また、大学院新入生に対しては、附属図書館職員により、サービスカウンターで多くの質問が寄せられる文献検索、資料の入手方法等について個別に説明を行った。

(5) 図書館間相互貸借(ILL: Inter Library Loan)

相互貸借や文献複写の申し込みは図書館ウェブページからも可能となっている。現在は、電子ジャーナル及び機関リポジトリの普及もあって依頼件数は減少してきている。また、鳴門市立図書館と資料の配送システム等のデリバリーサービスを引き続き実施、利用者からは好評である。

<参考 ILL(国内文献複写)件数統計 H26. pdf, ILL 現物貸借冊数統計 H25. pdf>

(6) 読書推進活動

ア 推薦図書紹介「わたしの本棚から」

平成 26 年度は、17 人の教職員から本学の学生にぜひ読んでほしい図書、心に残る図書各 1 冊を紹介し、当該図書を附属図書館に陳列するとともに、紹介文を附属図書館ウェブページに掲載した。

イ 知的書評合戦

学生並びに一般市民に対して、図書への興味並びに図書館への親しみを更に深めることを

目的に、知的書評合戦を平成 26 年度に初めて実施した。これは、平成 26 年 11 月の大学祭のプログラムとして行い、5 人の出場者がそれぞれの推薦本を紹介した。

なお、実施後は附属図書館において、紹介に使用した図書の展示を行った。

(7) 経済困難な学生に対する「学内ワークスタディ」制度の開始

文部科学省から運営交付金対象事業費が交付され、教員養成大学の附属図書館の業務に従事することで、教職に不可欠な資料の知識を身に付ける機会を提供するとともに、学部学生に対する一層の経済的支援を行うため、平成 26 年度は 10 人の学部学生を雇用し、図書館書架の蔵書整理、館内資料の蔵書点検業務を行った。

(8) 館内環境の整備

ア. 附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架を更新

平成 25 年度大学教育研究特別整備費(単年度)が交付され、附属図書館 1 階・2 階の電動式集密書架を更新した。更新により、利用者の利便性が向上され、更なる安全・安心な学修・研究環境が提供された。

イ. ブックディテクションシステム(BDS)を更新

蔵書資料のセキュリティ管理は、大学図書館の財産を守るだけでなく、多様化する学習ニーズに的確に対応する観点からも大学図書館にとって不可欠である。その機器の一つであるブックディテクションシステム(BDS)を平成 14 年 3 月から導入し、運用していたが、耐久年数を超え故障が頻繁となり、平成 27 年 1 月に更新を行った。

ウ. 一般図書等の拡張配架

電動式集密書架の設置により、空いた書棚に一般図書(歴史、地理学分野)約 13、800 冊を移動した。(平成 26 年 10 月)

移動した歴史・地理学分野の空いた書架に一般図書(心理学～教育学分野)約 76、600 冊を拡張配架した。(平成 26 年 11 月～平成 27 年 2 月)

現行教科書、指導書を 1 階閲覧室に移動させるとともに、阿波学コーナーを 2 階閲覧室に移動した。(平成 27 年 3 月)

エ. セミナー室に 2 台目の電子黒板を設置(平成 27 年 3 月)

オ. エントランスホールに設置している新聞閲覧コーナーの机、椅子をリニューアル

カ. 館外にあるブックポストを更新

キ. ブックシャワーおよび除菌ボックスの設置

(9) 利用者懇談会の開催

平成 26 年度の利用者懇談会(大学院生、学部生)を平成 27 年 2 月に開催した。そこで出された要望事項を検討分類し、その実現に向けての取り組みを続けている。

4. 研究支援

(1) 電子情報サービス

図書館ウェブページでは、蔵書検索(OPAC), CiNii, PsycINFO等のデータベースと約9,400タイトルに上る電子ジャーナルを提供している。

平成26年度は、電子書籍(SpringerLinkの「eBooks」100冊)を購入した。

また、Maruzen eBOOK Library 136冊の提供を開始した。

(2) 聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞記事データベース)の提供を開始した。(平成26年4月)

(3) 国立国会図書館「デジタル化資料サービス」の利用を開始した。(平成27年2月)

5. 地域貢献

(1) 一般利用者(社会人, 他大学学生, 本学の卒業生・修了生等)への図書館利用サービス

ア 利用登録者数 320人

イ 貸出者数 839人

ウ 貸出冊数 2,639冊

(2) 児童図書室の利用サービス

児童図書室長, 専任の職員を始め学生のボランティアが交代で活動しており, 開室27年目を迎えた。平成26年度は延べ3,175人が利用し, 図書貸出は3,480冊であった。企画行事として,七夕会や冬のお楽しみ会, わらべうた講習会等を開催した。これらは, 子どもの発達を支援するとともに, 将来教師になろうとする学生にも生きた教育実践の場として機能している。また, 「子育て支援活動」及び地域住民との交流を促進することにもつながっている。平成22年10月からは, 地域社会への附属図書館サービス充実のため, 児童図書室所蔵目録データベース公開に向けて, 児童図書室蔵書の図書館業務システムへの登録を実施している。

また, 児童図書室資料のオンライン貸出・返却を開始して利用に供している。(平成27年2月)

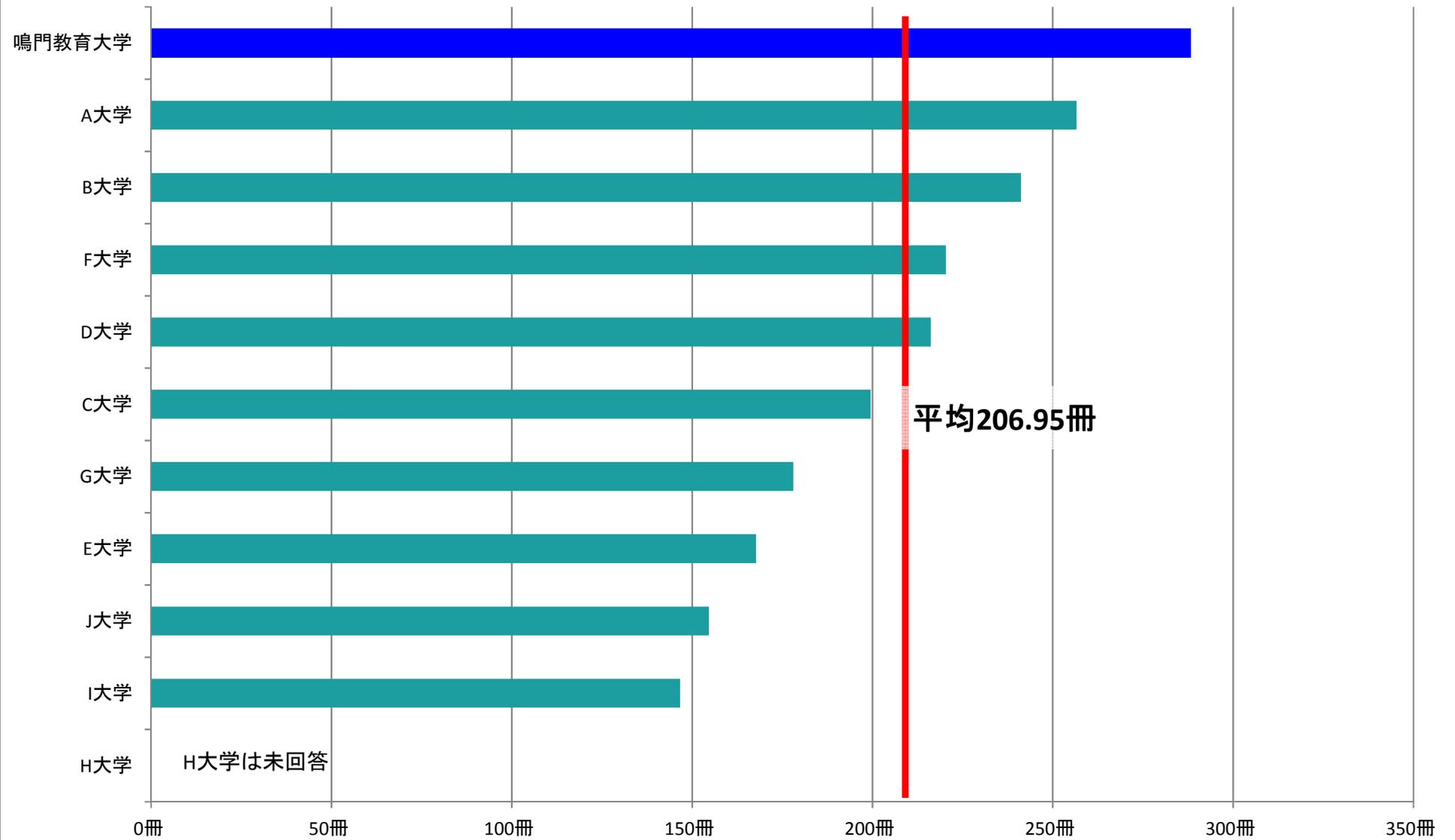
(3) 企画展示会 写真展「鳴門教育大学のあゆみ」の開催

鳴門教育大学ホームカミングデーに合わせて, エントランスホールにおいて写真展「鳴門教育大学のあゆみ」を開催した。学内の教職員, 学生, 卒業生, 一般市民等と幅広い利用者から好評を得た。(平成26年10月～平成26年12月)

学生1人当たりの蔵書冊数

出典「日本の図書館2014」(日本図書館協会)

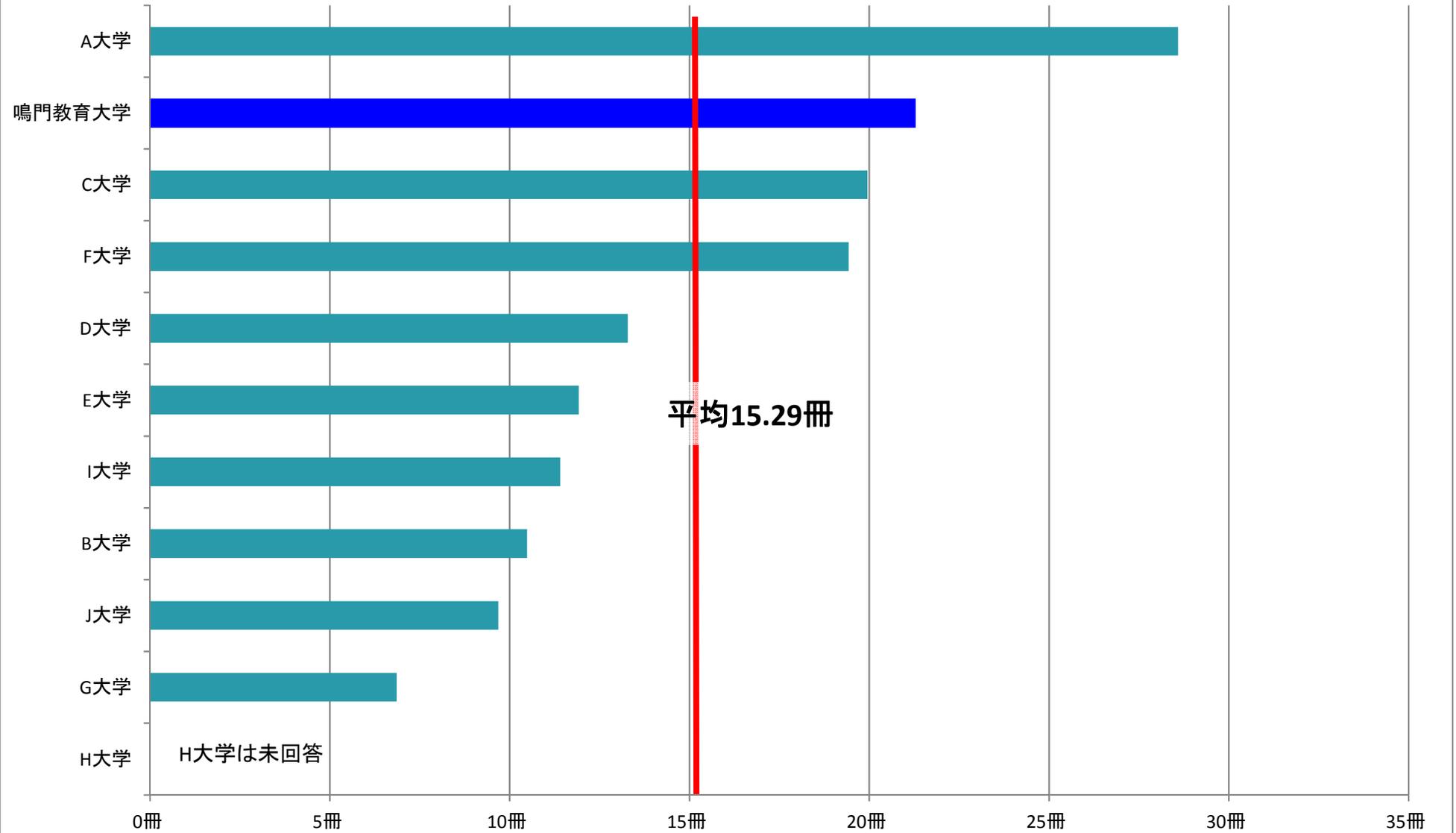
鳴門教育大学附属図書館



学生1人当たりの年間図書貸出冊数

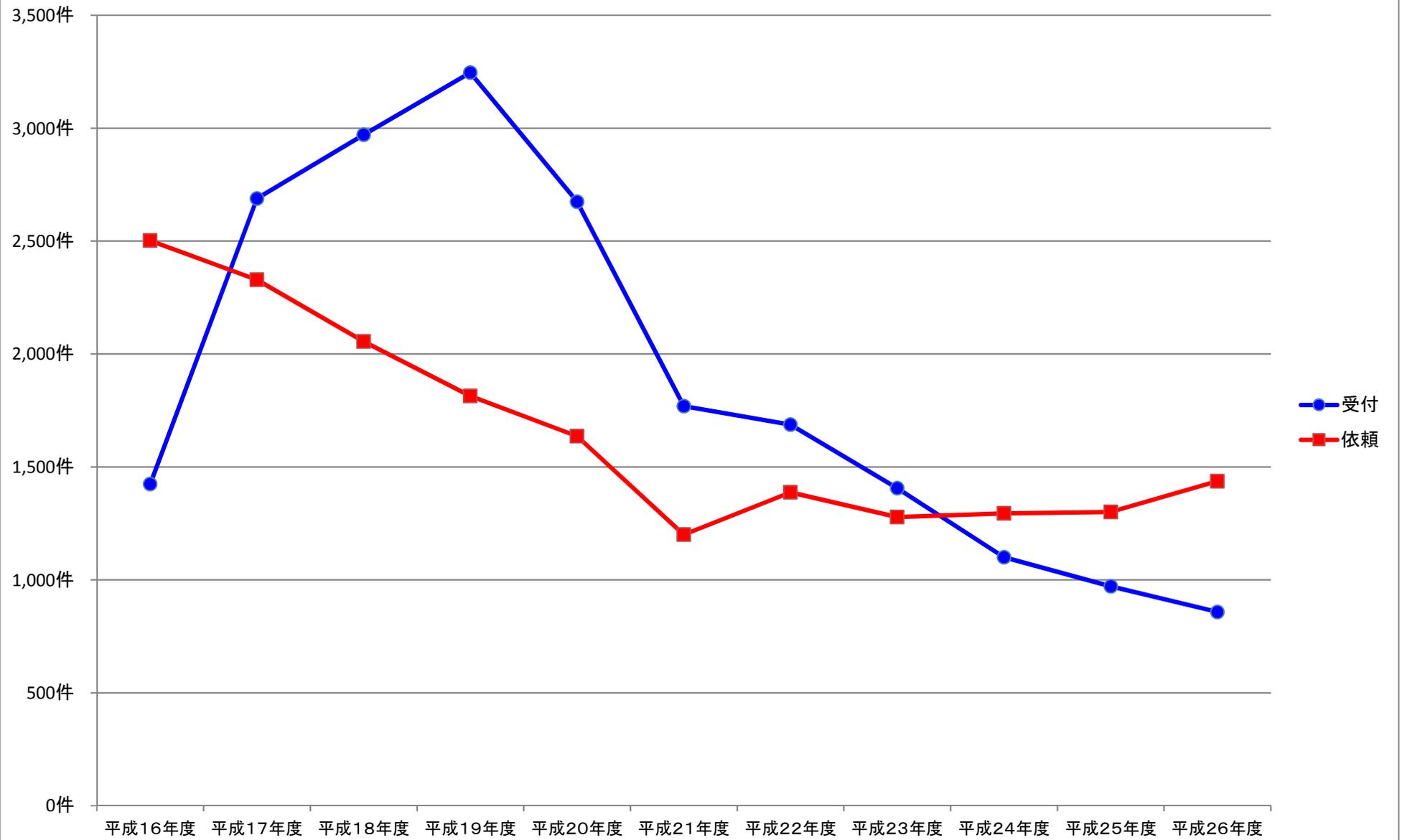
鳴門教育大学附属図書館

出典「日本の図書館2014」(日本図書館協会)



ILL(国内文献複写)件数統計

鳴門教育大学附属図書館



ILL現物貸借冊数統計

鳴門教育大学附属図書館

